



選択研修「キホン！キャリア教育」

～学ぶことと自己の将来をつなぐキャリア教育の実践～

7月13日(月)、宮崎県教育研修センターで、キャリア教育の実践に必要な方策について理解することを目的として研修が行われました。

午前は、大正大学地域創生学部の浦崎太郎教授を講師とし、「地域と連携したキャリア教育」にかかわる研修をオンラインで行いました。

午後は、キャリア・パスポートやキャリア・カウンセリングについての理解を深めた後、宮崎県キャリア教育支援センターの羽田野祥子コーディネーターと福島梓コーディネーターが、キャリア教育にかかわる学習プログラムの実践例紹介や演習を行いました。

「地域と連携したキャリア教育」

浦崎先生からは、総合的な学習(探究)の時間において、児童・生徒が当事者意識をもつことの大切さや、地域課題の解決と児童・生徒の興味・関心に応じた学びの重なるところが探究を行う上での「問い」となること等について話がありました。また、児童・生徒自身が「問い」を見付け、体験を通して検証している実践例として、岐阜県の吉城高校や、島根県の隠岐島前高校等が紹介されました。

講義の後には、浦崎先生が、受講者からの質問にオンラインで答えてくださいました。質問に答える中で、探究活動を充実させるために、小学校や中学校では、まず、PTAや部活動等の組織を生かして社会とつなげるとよいこと等の話がありました。



キャリア・パスポートとキャリア・カウンセリング

キャリア・パスポートを活用する上で、児童・生徒が、事実や体験をもとに振り返ったり、見通したりしながら、児童・生徒自身で変容に気付くことが大切であること等について県版のキャリア・パスポートを例に説明しました。受講者は、「夢・チャレンジみやざき志事人」の動画を活用した学習例における「教師からのメッセージ」を考えたり、どのように児童・生徒と対話を行えばよいかを演習を通して学んだりしました。



キャリア教育に関わる様々な学習プログラム

昨年度の実践を踏まえながら、「まちのジョブシャドウイング in 日南」や「対話型動機付けキャリア教育プログラム『ひなた場』」を紹介しました。

実践紹介の後には、「ひなた場」で、対話を通して人生を語り合うために用いられる「人生グラフ」の作成と対話の体験をしました。

受講者からは、「職場体験学習でジョブシャドウイングをしたい。」「『ひなた場』を高校でしてみたい。」等の感想が挙げられ、直接コーディネーターに相談している方もいました。



ビデオコンテンツで学べる！ キャリア教育・地域学校協働活動

学校や家庭でもキャリア教育を学べるように、キャリア教育・地域学校協働活動のビデオコンテンツを、宮崎県教育研修センターのホームページに作成しました。1コンテンツが5分～12分程で、自分のペースでいつでも学ぶことができます。

アクセス方法！



クリックする！

宮崎県教育研修センター
YouTube チャンネル
宮崎県教育研修センター
ホームページ

YouTube チャンネル

トップページ

動画カテゴリ

下のバナーをクリックすると、それぞれのページへ移動します。

プログラミング教育

道徳教育

キャリア教育

地域学校協働活動

オンライン研修

こちらをクリックする！



「地域学校協働活動」の画面で、上の箇所の「こちら」をクリックすると、「みやざきの地域学校協働活動」の手引きをダウンロードできます。

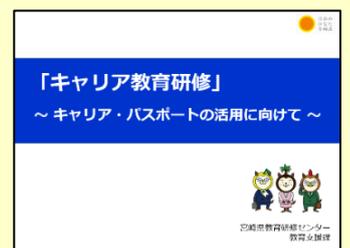
【キャリア教育ビデオコンテンツ】



キャリア教育の必要性や学習指導要領におけるキャリア教育の位置づけについて説明しています。（6分39秒）



特別活動を要とするキャリア教育の充実や、キャリア・パスポートの意義と活用の留意点について説明しています。（8分42秒）



県版のキャリア・パスポートを例に示しながら、キャリア・パスポートの内容と活用の仕方について説明しています。（11分56秒）

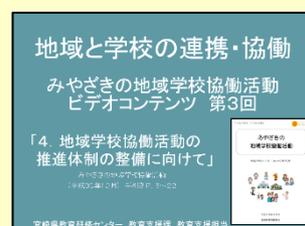
【地域学校協働活動ビデオコンテンツ】



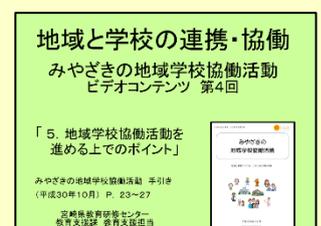
地域学校協働活動とは何か、学校支援地域本部事業との違い、地域学校協働活動による効果などを解説しています。（5分23秒）



地域学校協働本部とは何か、これまでの本県の組織・体制とこれからのみやざきならではの地域学校協働活動の組織・体制について解説しています。（5分25秒）



地域学校協働本部設置の手順解説や、具体的な事例を紹介しています。（9分15秒）



目的や目標の共有や一方から双方向の連携・協働などを解説しています。（8分16秒）